

社研ニュース

令和4年5月18日
社研ニュース No.2
川崎市立小学校社会科教育研究会

先日は研究総会のご参加、ありがとうございました。本研究会も新体制のもと、令和4年度の研究活動を創造してまいりたいと思います。よろしく申し上げます。

ごあいさつ

川崎市立小学校社会科教育研究会 会長

今年度、社会科教育研究会の会長を務めさせていただきます。各学校におかれましては、日頃から社会科教育研究会の取り組みにご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。また、各学校では、この2年間というものの新型コロナウイルスの影響で十分な見学や体験的な学習等ができず、工夫しながらの学習活動をしているところだと思えます。

社会科教育研究会では、研究主題を「ともに生きる未来を創造し、よりよい社会の在り方を問い続ける社会科学習」として、研究活動を続けております。今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮しながらの活動になります。会員の皆様には、急な変更や延期、中止などご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いします。ただ、コロナ禍であっても社会科の授業は行われています。新しい学習指導要領になって3年目の今年、さらに授業研究に力を入れ、会員の皆様に「よくわかる楽しい社会科授業」を提案してまいりたいと考えております。変化の激しい社会情勢ではありますが、社会のことを学ぶのが社会科です。今後も皆様に様々な資料や情報を提供できるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度の研究推進に向けて

川崎市総合教育センター

カリキュラムセンター指導主事

平素より、教育委員会、総合教育センターの諸事業にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度は、かわさき教育プランの第3期実施計画の実施となり、確かな学力の育成に向けた「市学習状況調査の結果の活用推進」、教育の情報化の推進に向けた「かわさきGIGAスクール構想の推進」が新たな事業として位置づけられました。各学校におかれましては、すでにGIGA端末を活用した授業実践を行っているところと存じますが、一層、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の取組を進めていただきますようお願い申し上げます。

川崎市立小学校社会科教育研究会におかれましては、これまでも日々の授業実践を大切にされた様々な事業に取り組まれています。今年度も各授業研究会や研修会等を通して、学習指導要領の理念の実現を目指し、目の前の子どもたちを大切にされた学習を展開していただきますようお願いいたします。また、研究会とセンターの共催研修には毎年多くの先生方にご参加いただいております。様々な事業や研修等を企画・運営していただく研究会の役員・常任委員の先生方に改めて感謝申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

～第1回 教育課程研究会のお知らせ～

今年度初の授業公開です。ぜひご参加いただき、皆さんで授業について熱く語り合しましょう！今回会場校となるのは、R2-3 研究推進校の南百合丘小、R3-4 研究推進校の中野島小です。

なお、参加方法等については別途お知らせがあります。

≪ 6/8 (水) [北部] 会場 川崎市立南百合丘小学校 ≫

○公開授業

4年 単元名「健康なくらしとまちづくり～ごみはどこへ～」

5年 単元名「自然条件と人々のくらし～住むならどっち？～」

●会場校からのご紹介

社会科研究推進校を終え、社会科研究3年目となります。昨年度までの成果や課題を踏まえ「自分の考えをもち かかわり合いながら 学びを深める子」を研究主題（目指す子どもの姿）とし、研究副主題（授業改善の方向）を「主体的に追究できる学習過程の工夫」としました。どちらの単元においても、子ども達が「たのしく学びを深めていく姿」を目指していきます。教育課程研究会では、子ども達の姿をもとに、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。どうぞよろしく願います。

≪ 6/15 (水) [南部] 会場 川崎市立中野島小学校 ≫

○公開授業

3年 単元名「市の様子」

5年 単元名「お米のなぞを探れ！」

●会場校からのご紹介

研究推進校となり2年目。昨年度は「社会科の授業はどのようにするのか」ということから研究がスタートしました。そこで「社会科の授業の進め方を知る1年」とし、研究を進めてきました。研究協議でも、社会科の授業の基本について迫り、子どもの職員も少しずつ力をつけてきました。

昨年度の研究の成果を生かし、今年度は資料をキーワードに、子ども達が夢中になる社会科の授業を目指します。

研究総会及び研修会 記録

- 日時：令和4年5月11日 川崎市立中野島小学校
- 講師：川崎市総合教育センター カリキュラムセンター 指導主事
- 演題：「中学校での学びに生きる小学校社会科の楽しい授業づくり」

1. 子どもは社会科が…

(市学習状況調査の結果より)

- ・小学生の意識：「社会科は、わかるし、役に立つ でも好きかと言われると疑問…」
- ・中学生の意識：「社会科は、わかるし、好き でも役に立つのかと言われると疑問…」

実際の出題問題 正答率の低かった問題の分析	そこから見える授業づくりのヒント
・中1歴史 文化遺産と時代の流れ →時代のつながりさえわかっていたら…?	(?) 位置や場所を捉えられているか →地球儀、地図の活用
・中2地理 世界各国の雨温図 →「日本の反対側」という理解さえあれば…?	(?) 時期や推移を捉えられているか →年表作成、活用 政治と文化の関連
・中2歴史 用語の記述 →CSに基づいた指導がなされていれば…?	(?) 何がわかればいいのか →教科書、CSをもとに

日頃の授業づくりや評価問題づくりをふりかえりましょう

- ・中学校では「小学校に加えて」の指導となる 単なる繰り返しにならないように指導
- ・中学校の教科書は文字数が多い→文字情報を読み取る力、多くの情報を整理する力の育成を

2. 子どもの力を見取るには…

(「指導と評価の一体化」参考資料より)

- ・小「憲法・政治」と中「民主政治・政治参加」が掲載
評価資料の「まとめの関係図」を比較することで、評価や小中のつながりのヒントに！

3. 実際の授業づくりは…

(実践事例集より)

- ・中学校では**単元構想図**をもとにした授業づくり
(重点：・単元を貫く ・様々な資料から調べる ・多面的多角的に考察・構想
・議論、説明 ・概念的知識の獲得 ・社会生活に生そうとする など)
- ・小学校では**単元構想図**の他、「社会のしくみ」と「社会とのかかわり」をつなぐ**理解の構造図**も
(重点：・理解から社会へのかかわり方へ 「単元を見通す学習問題」の追究
・実地調査 一つの資料からていねいに ・多角的に考える ・選択・判断 など)

4. 楽しい授業をめざして

- ・「材料〇分に、腕〇分」 材料=素材、教材 腕=技術、指導法

【よい教材のポイント】

- ・意外性 ・え？なんで？ ・知っていると思ったけどわからない！
- ・持続性 ・もっと ずっと～ ・学習を追究できる ・展開を考えられる
- ・真正性 ・なるほど そうか ・わかるべきこと ・本質的なこと

【よい指導法のポイント】

- ・発問 話し合い 板書
- ・子どもの「したい」を引き出すように
- ・ねらいと子どもの姿を踏まえて教材と指導を考えること

「子どもたちと一緒に授業を楽しめること」を大切に
子どもたちが、できるように、わかるように…